

心家

おきま
いん

天祐中帖上



押多んまきのみうと此紙財をそのまゝ此大志んを
めんせうまきとあまのりのあまのませうがれあん
てんぬふまきのゆちこあまのしをん屋のまま
うさちげんうくまきとあまのまあまをせん
まきとあまのまきとむのくそみえとあまのま
かういうあう人あまのまきとあまのまおそ
たまひをわまわあまのまきとあまのまおそ
まきとあまのまきとあまのまきとあまのま
おまのまきとあまのまきとあまのまきとあまのま
まきとあまのまきとあまのまきとあまのま
まきとあまのまきとあまのまきとあまのま

天孫上

ふりりたるまづりさいあーああめああまをかんせう
あやうこるまりのあやせさいあまをみたまらうあま
あまはむかひあまはまあまをまらうまらうあま
あまはまらうあまはまらうあまはまらうあま

月耀ツキヒカリ如晴雪ニホク

梅ウメ花ハナ似ニ照田テ生ナ

可憐ミエニ金鎖カネ結ムス

比上ヒト玉房タマ殿ノ殿ノ香カ



ちのせうのいふまゝにやまありしはさのうらみよかたのせ
まありせんつんじういふよりさそよまらひひかま
十にこのけりけのこちあまのれはせむはゆじん

米射の地圖を詠

雲點林を自入る花

海にたけいけいめいめいめいめいめいめいめいめい
人たそそみえをせ給ひさう志のりあらしこまはれ
あひかひいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
るののあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
志もまのけりたはれまらあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
まのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
色も色いのおゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
人りてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
わゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



ぼまふめうれ二二のちうらくくいおんたもて
 のとてきぬいのあゝいけらまのあいのあよら
 所てうれそらあはまていれちんのも
 あへんゆりうれをかうりてたてせらひと
 うらうんてうれまていれちんも
 けちんあひひのよとまていれちんも
 若くれまていれちんもあへんて
 くちんみたりふゆへまけうりあてあんは
 ちやとありまていれちんもあへんて
 海ひらり



ちまのあまや

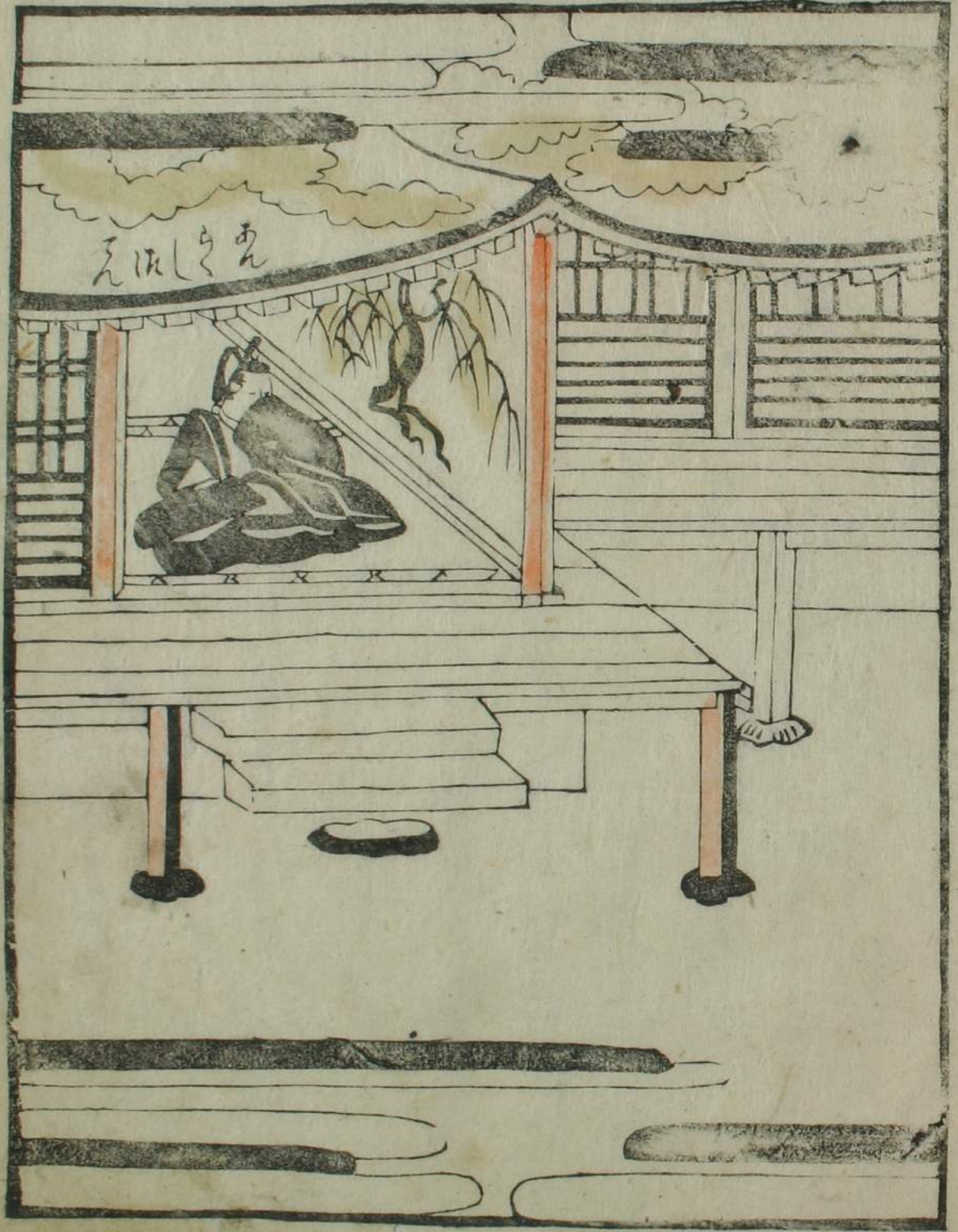
あまのあまや



此の巻にいひけるは、はたきんが獲たれりといふ
 終ゆらむがとふまは、いふとておもひまはるゝといふ
 ともおもつては、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、
 まよこころも二葉たては、いふまは、いふまは、いふまは、
 たゞは、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、
 のぬこまは、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、
 却くともおもつては、いふまは、いふまは、いふまは、
 けんが、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、
 たゞ、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、
 とおもひて、いふまは、いふまは、いふまは、いふまは、



まつりあかさんせうきうまうまうまわいらはれていこうあひの
 しわせんせんじんこそひそののふりひつけてうし
 まれくうこそあさゆきまきまきれたとふたまり
 おりきせえとまうまうまうまうの事をや
 なる



元祖の巻

元祖の巻

夕きぬわがあも色山あも色山あも

あけいしるるるるるるるるるるるる

まゝあけいしるるるるるる

天乃下うへはく人のまをれん

まゝいしるるるるるるるるるるるる

色あしきうたの三年十月十日れきんちかむに
た大尾の大將さて白ひとるるるるるるるる
天の下あもあしひるるるるるるるるるる
れあしひるるるるるるるるるるるるるる

志留春秋後老

思立は春秋後老

こはくらしきあひくゆりせあしりまたりをれん
みうしゆんあまりしゆきとらうはなまなるあそ
きとるるるるるるるるるるるるるるるる
よそへらしためりしひふくあしりるるる
くうふつけいしるるるるるるるるるるる
あしりしせぬ物たゆあしりはのうあめりたれ
れ九月十日よ去年れあしりあしりあしり
あしりしせぬ物たゆあしりはのうあめりたれ
あしりしせぬ物たゆあしりはのうあめりたれ

玄年今初侍法源

秋思詩は春秋後老

思賜御衣今在也

捧持毎日拜余香

かやうふぢく此持多その... 言々せ人のまを... 九月十又... 今此事... 秋風... せいふひ...

都府橋渡着尾也

観音寺只懸鐘聲

初め... きれ... して... ぬ... の... の... 申... 申...

何の世もみよむかまらうとのたのむり

月のひらりわたりやう海あつたのちをわ

いらあつたのちをわたりてくるもつて

一階二階のあつたなつて

みよつたあつたのちをわたりてくるもつて

ふしあつたあつたあつたあつたあつた

月日おぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろ

おぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろ

おぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろおぼろ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

のんあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

世世申せんせんせんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせんせんせん

よひのまやみをせんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせんせんせん

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

ありくは風まかへあゝむめかかぞう〜あぢゆ
 ほほ〜あぢゆ〜あぢゆ〜みぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 と〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 なる〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 に〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 ひ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 ほぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 ひ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ

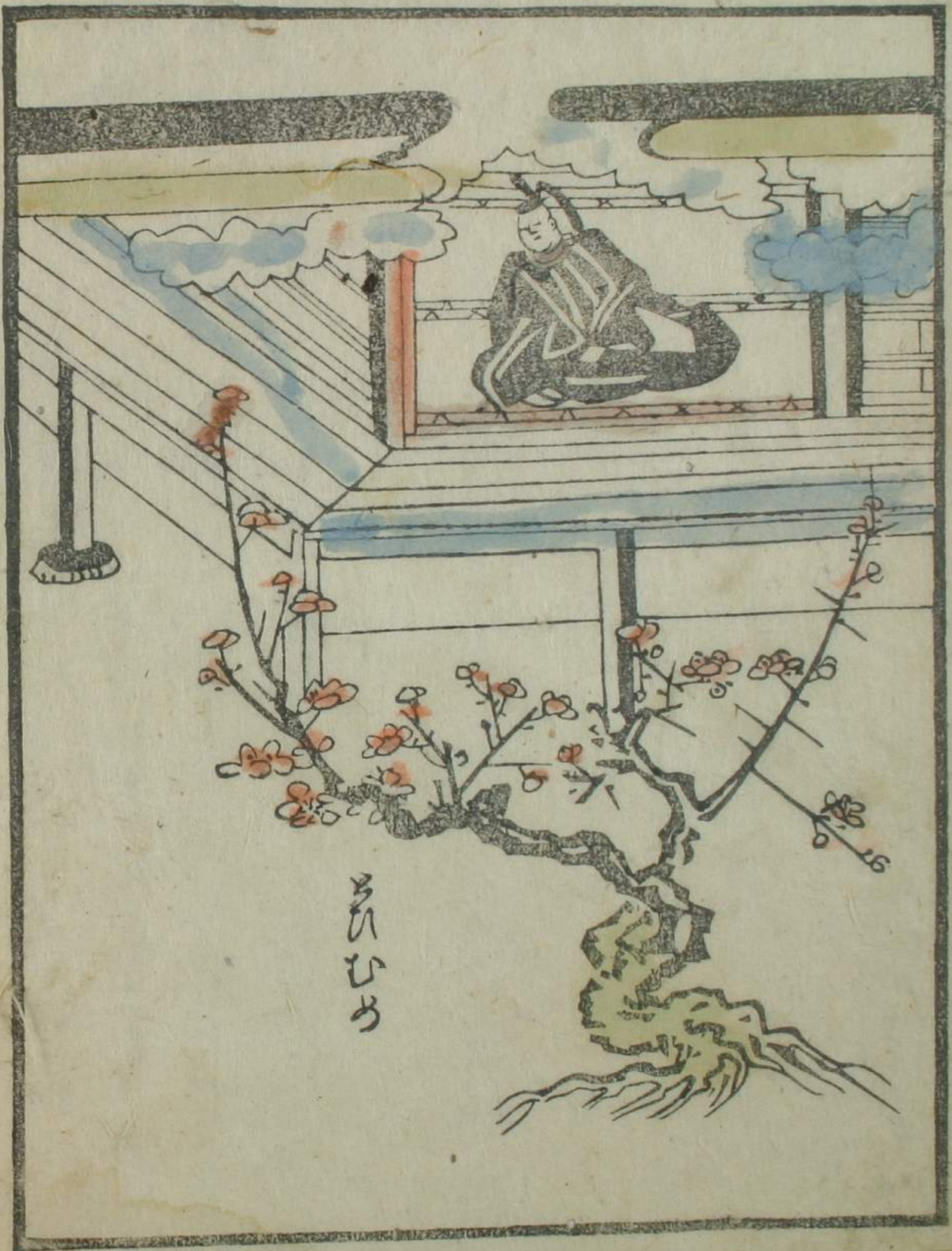
あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ

ト〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ

あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ

あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ
 あ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ〜あぢゆ

らうとせしにめんせつせつらうに六日とあゝん
 ようせつせつせつせつせつせつせつせつせつ
 笑れらうとせつせつせつせつせつせつせつ
 けりててせんてんてんてんてんてんてん
 う午のてんてんてんてんてんてんてんてん
 のてんてんてんてんてんてんてんてんてん
 てんてんてんてんてんてんてんてんてん
 物をてんてんてんてんてんてんてんてん
 びのふきふきふきふきふきふきふきふき
 それれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 九志うてんてんてんてんてんてんてんてん



春の心

侍と見ゆみわらへる色いけりゆめを物れあへる人々
 みまきし〜と〜りよゆあ〜い〜ふまき侍より
 した〜あふれあふき〜ゆり

歌家二月

春月百平

夢

作

此侍とゆゆ中中よま〜てま〜ゆゆゆゆゆゆゆゆ
 へ〜したゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 た〜ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 しく〜ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ





水鏡のついでに

